

2011年3月期 中間 決算説明会



株式会社 エフピコ
2010年11月10日



本資料取扱のご注意



本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

◆ <u>実績報告</u>	経理財務本部長	瀧崎 俊男	・・・・・・・・ 3
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	・・・・・・・・ 9
◆ <u>業績状況と企業規模拡大</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	・・・・・・・・ 19
◆ 添付資料			・・・・・・・・ 32

実績報告

2011年3月期 中間

經理財務本部長
瀧崎 俊男

販売状況 (2011年3月期 第2四半期累計)



計画は、'10年8月9日発表の予想

単位:百万円	第2四半期累計 実績		増減	前年比
	10/3月期	11/3月期		
ト レ ー 容 器	13,583	13,389	193	98.6%
弁 当 容 器	34,534	36,358	+ 1,823	105.3%
そ の 他 製 品	811	1,630	+ 819	201.0%
[製 品]	48,929	51,378	+ 2,448	105.0%
包 装 資 材	8,799	10,357	+ 1,557	117.7%
そ の 他 商 品	5,273	4,416	856	83.8%
[商 品]	14,073	14,773	+ 700	105.0%
[売 上 高]	63,002	66,151	+ 3,149	105.0%

数量 伸長率	第2四半期累計 計画		
	11/3月期	構成比	達成率
102.5%	14,100	21.2	95.0%
110.8%	35,900	54.1	101.3%
	1,000	1.5	163.1%
107.3%	51,000	76.8	100.7%
	10,100	15.2	102.5%
	5,300	8.0	83.3%
	15,400	23.2	95.9%
	66,400	100.0	99.6%

製品

汎用製品および軽量化製品の拡販、新製品が好調

- ・出荷枚数 : 前年比107.3%伸長
- ・製品価格 : 前期に実施した製品値下げの影響が9億円
- ・トrey容器 : 超軽量化ロースタックトreyのFLBシリーズが好調
トrey to Treyの再商品化“エコトrey”が伸長
- ・弁当容器 : 漏れにくい電子レンジ対応容器(タルク)、
汎用タイプのフードパックが好調
PET素材製品の新製品の引き合いも順調
軽量化製品の刺身・寿司容器が好調
- ・その他製品 農産物のマーケット OPP袋が順調

商品

- ・ユカ商事の事業譲受により、食品包装資材の取扱増加

決算概要 (2011年3月期 第2四半期累計)



計画は、'10年8月9日発表の予想

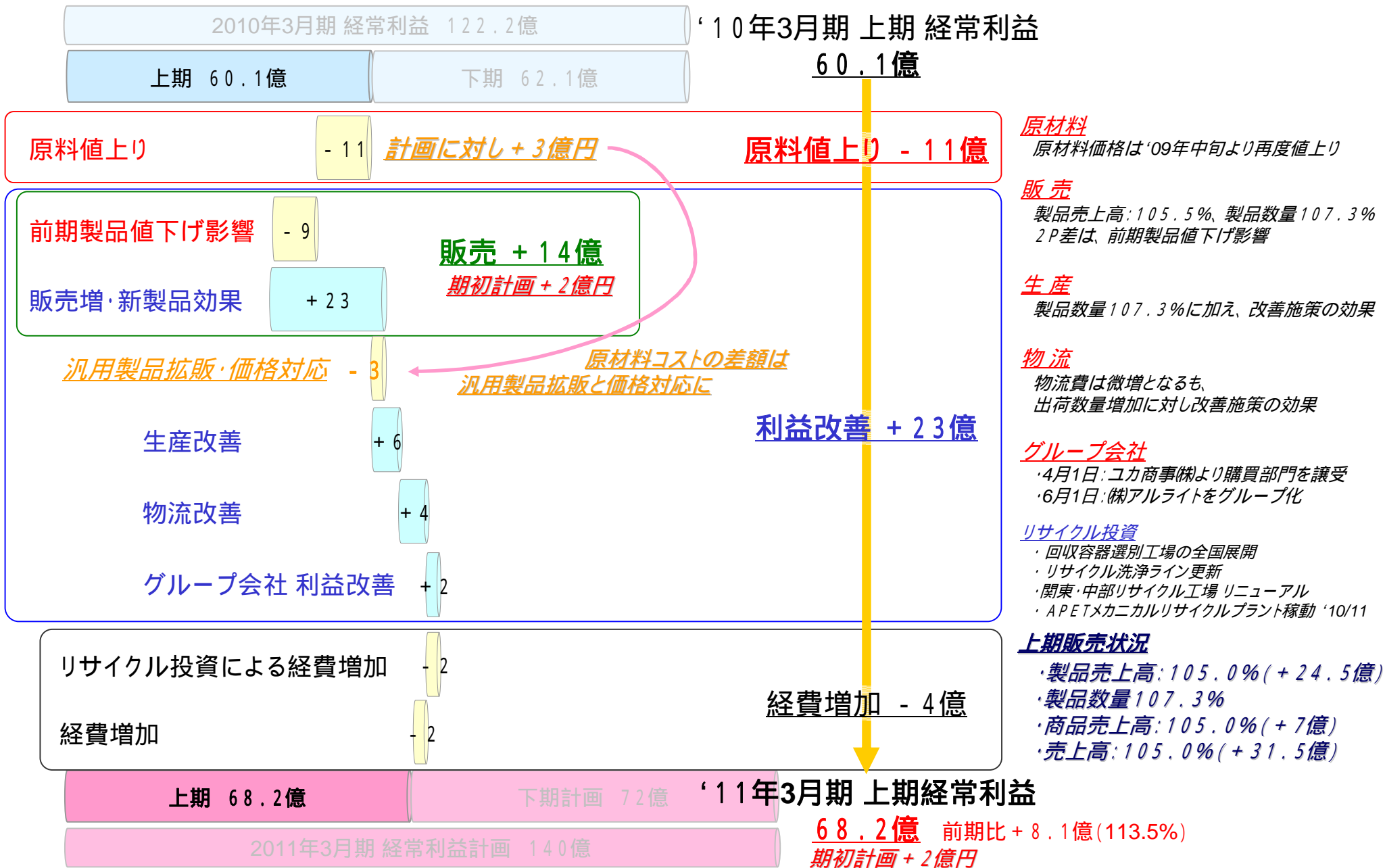
単位:百万円	第2四半期累計 実績				増減	前年比	第2四半期累計 計画		
	10/3月期	構成比	11/3月期	構成比			11/3月期	構成比	達成率
【 純 売 上 高 】	63,002	100.0	66,151	100.0	+ 3,149	105.0%	66,400	100.0	99.6%
製品売上高	48,929	77.7	51,378	77.7	+ 2,448	105.0%	51,000	76.8	100.7%
商品売上高	14,073	22.3	14,773	22.3	+ 700	105.0%	15,400	23.2	95.9%
【 営 業 利 益 】	5,844	9.3	6,621	10.0	+ 777	113.3%	6,640	10.0	99.7%
【 経 常 利 益 】	6,010	9.5	6,829	10.3	+ 819	113.6%	6,800	10.2	100.4%
【 当 期 利 益 】	3,480	5.5	4,003	6.1	+ 523	115.0%	4,000	6.0	100.1%

- ・M&A : '10年4月 消耗品・包装資材に強みを持つ ユカ商事(株)より事業を譲受、商品調達とその取扱を強化
'10年6月 フィルムメーカーである(株)アルライトをグループに加え、製品開発力の更なる強化を図る
- ・社内改善: 製品の軽量化、素材切替、製品アイテム数の絞込み、
生産および物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善
- ・販売面 : 汎用製品および軽量化製品の拡販、新製品の上市等により販売好調
ユカ商事の事業譲受により、食品包装資材の取扱増加
- ・生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化
- ・物流面 : 需要に即した供給体制の構築、在庫水準の適正化、横持ち・保管にかかわるコストの低減

2011年3月期中間期 経常利益増減要因



単位: 億円



原材料

原材料価格は'09年中旬より再度値上り

販売

製品売上高: 105.5%、製品数量107.3%
2P差は、前期製品値下げ影響

生産

製品数量107.3%に加え、改善施策の効果

物流

物流費は微増となるも、
出荷数量増加に対し改善施策の効果

グループ会社

- ・4月1日: ユカ商事(株)より購買部門を譲受
- ・6月1日: (株)アルライトをグループ化

リサイクル投資

- ・回収容器選別工場の全国展開
- ・リサイクル洗浄ライン更新
- ・関東・中部リサイクル工場 リニューアル
- ・APETメカニカルリサイクルプラント稼動 '10/11

上期販売状況

- ・製品売上高: 105.0% (+24.5億)
- ・製品数量107.3%
- ・商品売上高: 105.0% (+7億)
- ・売上高: 105.0% (+31.5億)

設備投資・研究開発費 (2011年3月期 第2四半期累計)



単位: 百万円	第2四半期累計 実績				第2四半期累計 計画	
	10/3月期	11/3月期	増減	前年比	11/3月期	計画比
設	4,867	6,214	1,346	127.7%	7,750	80.2%
備						
投						
資						
減						
研						
価	4,075	4,276	201	104.9%	4,300	99.4%
償						
却						
費						
無	82	126	44	154.1%	270	46.7%
形						
固						
定						
資						
産	4,785	6,087	1,302	127.2%	7,480	81.4%
内、	1,230	218	1,011		210	
土						
地						
研	503	588	84	116.8%	480	122.5%
究						
開						
発						
費						

設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

		百万円	
リサイクル	透明容器設備強化(一軸延伸PET)	404	(投資増額 474百万円)
	関東リサイクル工場リニューアル	332	(投資総額 453百万円)
	中部リサイクル工場リニューアル	24	(投資総額 885百万円)
	回収容器選別工場	771	(投資総額 1,240百万円)
	PETメカニカルリサイクルプラント	294	(投資総額 1,320百万円) '10/11稼動予定
ピッキングセンター	新福山	965	(投資総額 1,887百万円) '10/6稼動
	新中部	247	(投資総額 2,350百万円) '11/5稼動予定
金型		930	
IT投資		149	

キャッシュ・フロー (2011年3月期 第2四半期累計)



単位:百万円	第2四半期累計 実績	
	10/3月期	11/3月期
営業活動による C/F	5,817	5,793
投資活動による C/F	5,627	4,516
フリー・キャッシュフロー	189	1,276
財務活動による C/F	4,843	2,343
現金及び現金同等物の増減額	4,654	3,615
現金及び現金同等物の高残	11,454	14,718

営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	6,746	百万円
減価償却費	4,276	
仕入債務の増加	2,001	
売上債権の増加	2,024	
法人税等の支払	3,374	

投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得	5,411	
-----------	-------	--

財務活動によるキャッシュフロー

借入金の純増額	5,290	百万円
リース債務の返済	1,560	
配当金の支払額	1,084	

現金及び現金同等物

前連結会計年度末より 3,615百万円増加

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

連結決算のポイントと今後の見通し



単位: 億円

原材料価格は'09年中旬より再度値上り

新製品の出足好調

徹底した社内改善の推進

戦略投資

- 6月: 新福山ピッキングセンター稼働
- 9月: 関東新工場建設発表('12年春稼働予定)
- 11月: 新リサイクルネットワーク稼働
- 11月: APETメカニカルリサイクル稼働

企業統合による企業規模拡大

- 4月1日: ユカ商事(株)より購買部門事業譲受
- 6月1日: (株)アルライトをグループに
- 10月1日: インターパック(株)をグループに
- 12月1日予定: ダイヤフーズ(株)をグループに

'10年8月9日 計画修正

	上期	下期
売上高		+60.0億
経常利益	+2億	+2.5億
商品販売面		+0.5億
MA効果		+0.5億

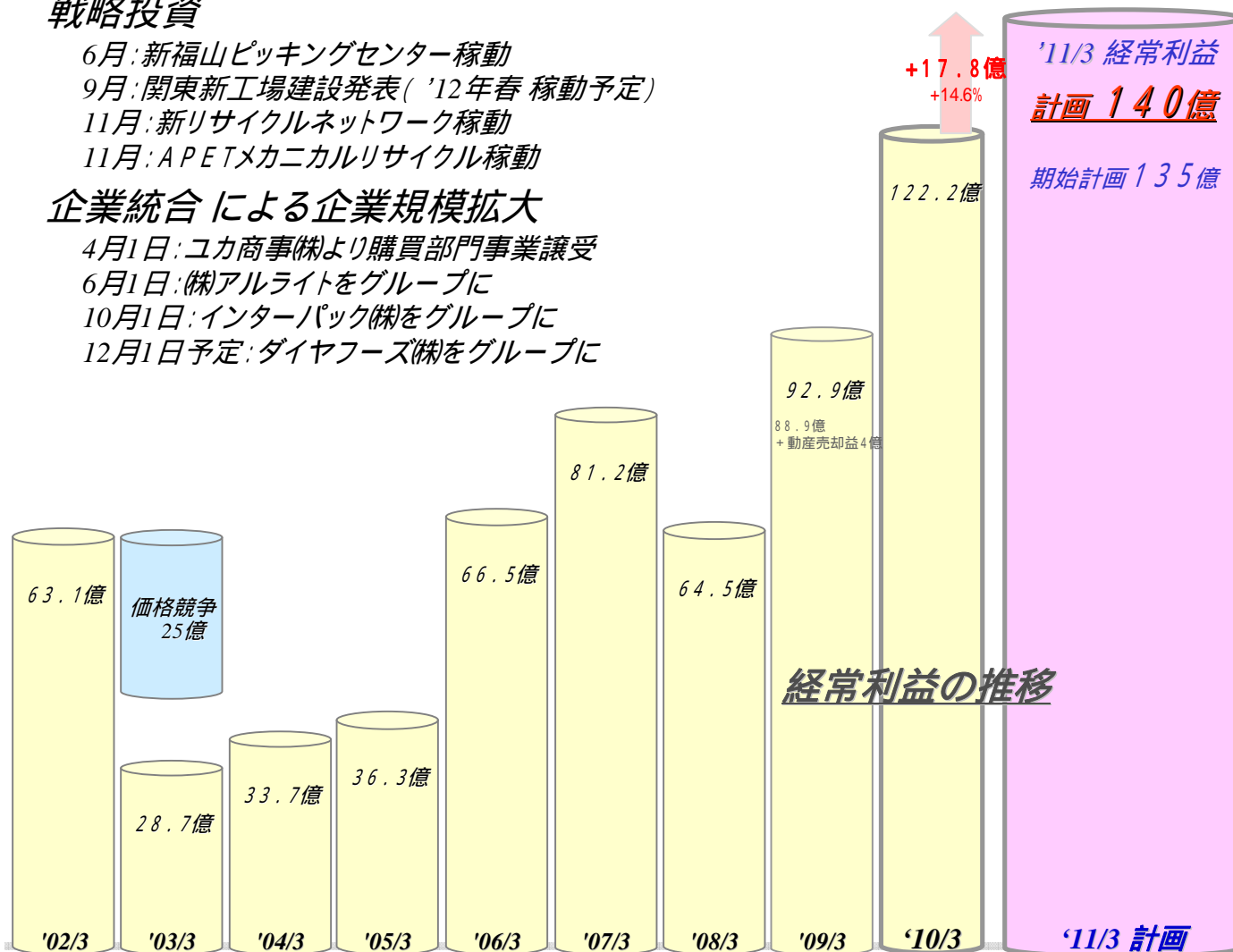
'11年3月期 販売計画 **1,430億** 116.9%

製品売上高: 前期比: **105.3%** +52億

製品売上数量: 前期比: **107%**

商品売上高: 前期比: **147.1%** +129億

製品売上数量計画を105%から107%に修正



世界初の素材・機能

- ・MFP: -40 ~ +110
- ・一軸延伸APET
- ・二軸延伸APET
- ・スクリュタイプ容器

汎用製品の拡販

徹底した社内改善

リサイクル事業の整備

ピッキング事業の整備

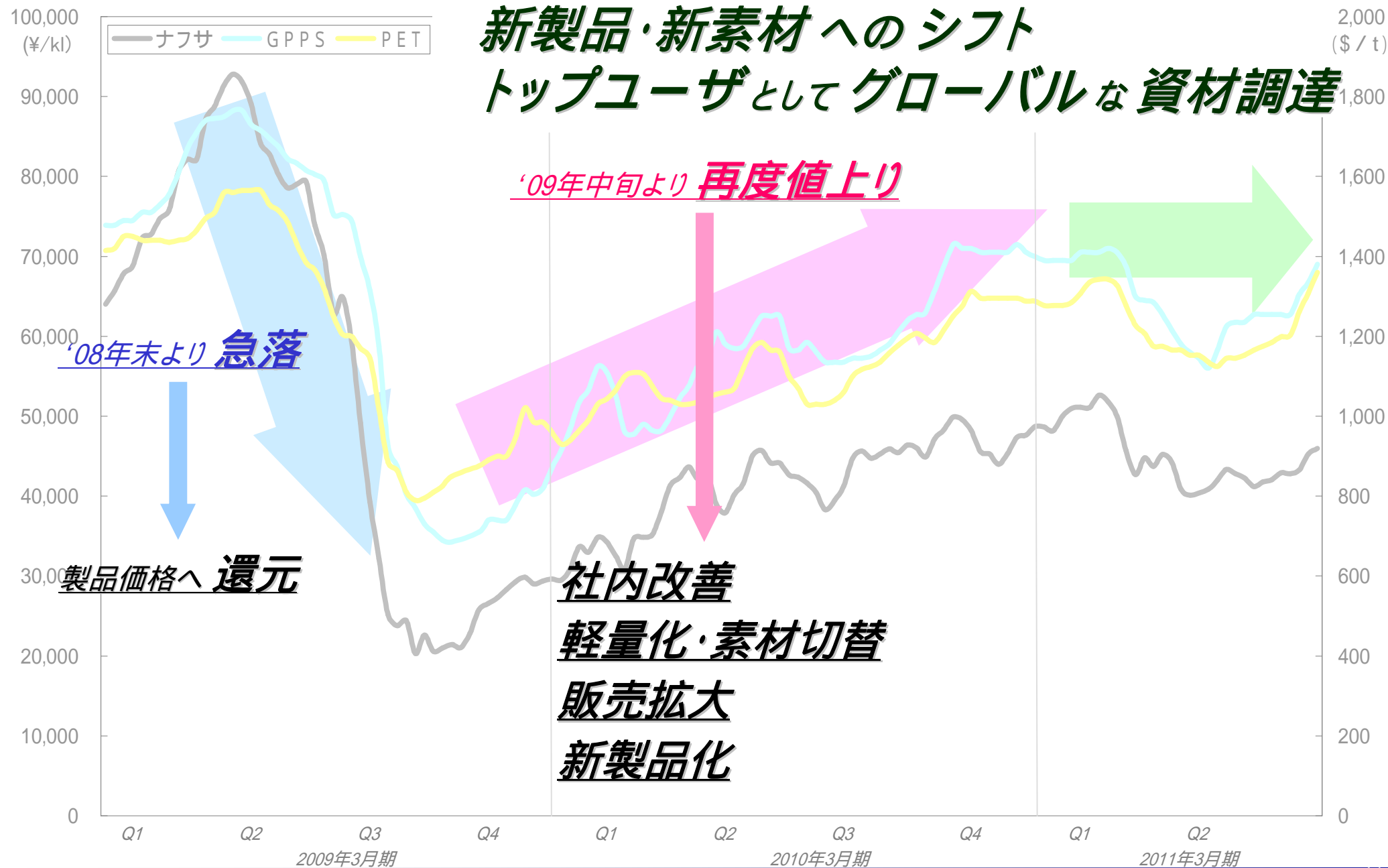
企業統合による企業規模拡大

- ・商品取扱の強化
- ・農産品容器の拡大
- ・鶏卵パック
- ・ポリ乳酸容器

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **400円**

原材料動向



製品戦略 新素材 + 新機能 + 新マーケット



新素材

マルチFP (MFP) : -40 ~ +110、発泡PS容器

一軸延伸APET容器: 耐熱70 + 軽量化

二軸延伸APET容器: 耐熱80 + 軽量化 関東新工場にて'12年春より上市

新ハイスター: 従来1.8倍 3.5倍発泡の軽量化PP容器

耐熱PP透明容器: 耐熱+110



PP透明



新ハイスター

新機能

スクリュータイプ容器(漏れにくい)

漏れにくい容器: APET, PP

内容物がずれにくい容器

新デザイン容器

スクリュータイプ



内容物がずれにくい

新マーケット

農産品用容器・軟包装(フィルム)

食品加工メーカー用容器

鶏卵パック

ポリ乳酸容器



素材切替・軽量化

透明容器素材シフト: OPS APET, PP

PSP発泡容器の軽量化: 低発泡 高発泡

PS: ポリスチレン
PSP: 発泡ポリスチレン
OPS: 透明ポリスチレン
APET: 非結晶ポリエチレンテレフタレート
PP: ポリプロピレン

マルチFP (MFP)

・耐熱耐寒発泡ポリスチレン

・-40 ~ +110の広い温度帯に対応

・断熱性に優れ、レンジ加熱後でも手で持てる

・既存の耐熱容器(PPF)に比較し大幅な軽量化(50~60%)

・リサイクルが可能



延伸APET容器

・軽量化と耐熱性向上(一軸延伸: +70、二軸延伸: +80)

・優れた素材特性(耐油、耐酸、対可塑性...)

・レジン投入から製品まで一貫生産

・OPSからの素材シフト

・リサイクルを目指す



汎用製品 拡販

超軽量ロースタックトレイ: FLB, IFLB

嵌合フードパック: AP-SA, OPS-SA, PP-SA

フードパック: FPフード(OPS)

透明トレイ: AP-FC



汎用トレイ



嵌合フードパック



フードパック



透明トレイ

市場規模: 2兆円超

包装資材・消耗品 マーケット

市場規模: 5,000億

簡易包装容器

インスタ

惣菜 鮮魚 精肉 青果

アウトバック

農産 畜産 水産 加工食品

食品トレイ 惣菜弁当容器 袋 フィルム 容器資材 農産 鶏卵パック ポリ乳酸容器

消耗品・包装資材 / 機器

小売・中食・外食 全般

簡易包装容器 衛生用品 販促用品 事務用品 フィルム 紐バンド クロス 吸水紙 箸 テープ 調味料 什器 機械

得意分野で
優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

業務提携・M&A

世界初の
素材・機能

‘10年12月1日
ダイヤフーズ(株)をグループ化 予定

‘09年10月1日
日本パール容器(株)を事業譲受

‘09年6月1日
太洋興業(株)より包材部門を事業譲受

‘10年10月1日
インターパック(株)をグループ化

ピッキング整備

新福山ピッキングセンター ‘10年6月稼動
新中部ピッキングセンター ‘11年5月予定

物流ネットワーク & SCM

製品/素材 開発力

提案力

リサイクル

物流力

インフラ

調達力

‘10年6月1日
(株)アルライトをグループ化

‘10年4月1日
ユカ商事(株)より商品購買部門を事業譲受

サプライヤー

企業統合 シナジー効果により経営の効率化とマーケット拡大

製品売上規模: 20億

‘09年6月1日: 太洋興業(株)より包材部門を事業譲受

- ・農産品容器に強み
- ・生産地に強み



製品売上規模: 4億

‘09年10月1日: 日本パール容器(株)を事業譲受

- ・加工食品メーカーに強み

商品取扱規模: 60億

‘10年4月1日: ユカ商事(株)より購買部門を事業譲受

- ・包装品・消耗品の調達に強み

‘10年6月1日: (株)アルライトをグループに

- ・ポリスチレンフィルムのトップメーカー

売上規模: 190億(製品70、商品120)

‘10年10月1日: インターパック(株)をグループに

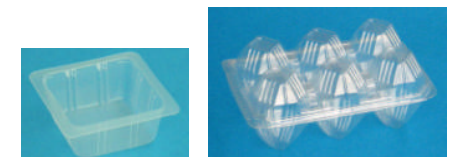
- ・関東圏を中心とした大手包装資材問屋

製品売上規模: 40億

‘10年12月1日: ダイヤフーズ(株)をグループに(予定)

- ・鶏卵パックでは業界2位
- ・VRVによるA-PET容器生産
- ・ポリ乳酸容器の生産

バージン層 → VRV3層シート
リサイクル層 →
バージン層 →



あらゆる面での統合効果を見込む

原材料・調達

販売チャネル

生産技術

商品・調達

製品ラインナップ

物流ネットワーク

インフラ

リサイクルネットワーク

全国を網羅する物流ネットワーク



新中部ピッキング、関東新工場 稼働時

全国6拠点(10万75百坪)の配送センターと
全国11拠点(3万15百坪)のピッキングセンターから

高品質で効率的な物流サービスを提供

'10年6月
新福山ピッキングセンター稼働



新福山PC
福山 配送C



新潟PC

西宮PC

広島PC

東北 配送C

仙台PC

東日本ハブセンター

関東PC

東京PC

西関東PC

中部PC

中部 配送C

福岡PC

九州 配送C



'11年5月
新中部ピッキングセンター稼働予定



環境経営と社会責任 新リサイクルネットワークの構築



回収 リサイクル工場(6工場)

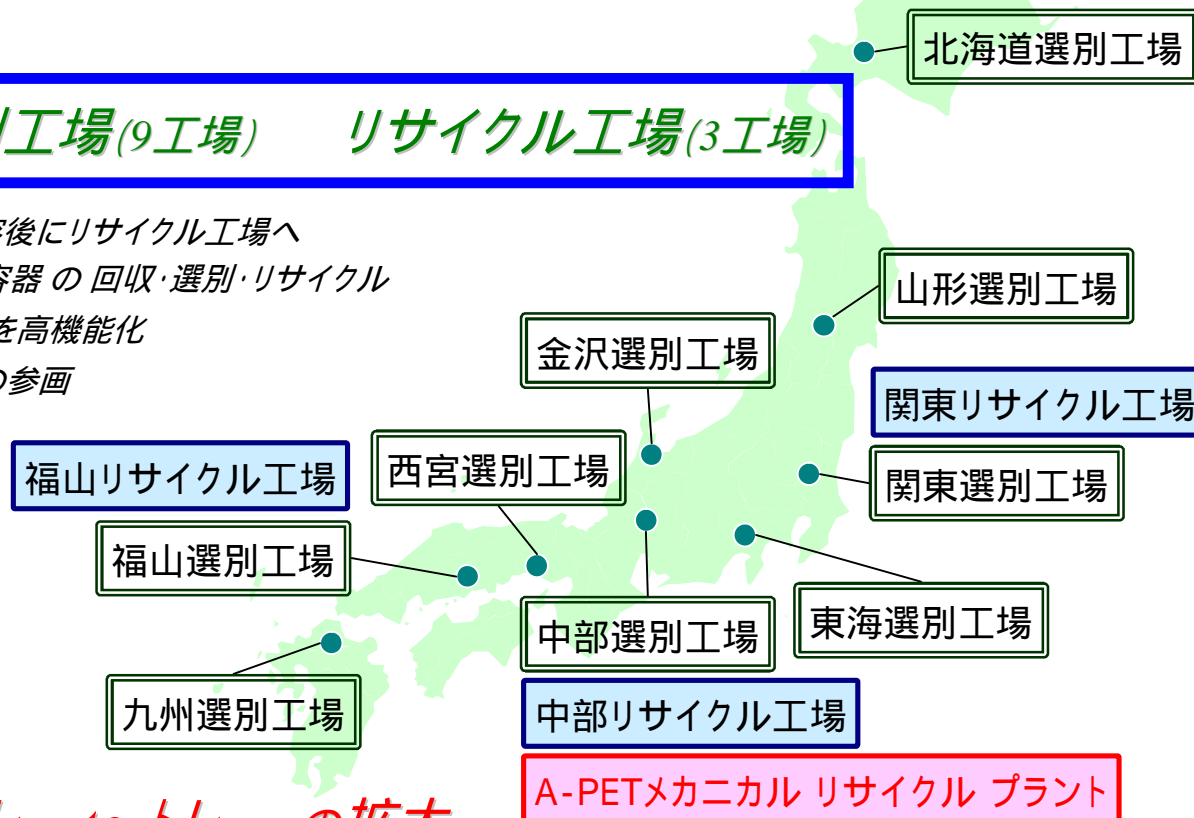


・選別工場能力(常勤)
 PSP: 26ライン、9,360トン/年
 透明容器: 13ライン、2,340トン/年

回収 選別工場(9工場) リサイクル工場(3工場)

- ・選別工場にて仕分け減容後にリサイクル工場へ
- ・発泡トレー容器 + 透明容器の回収・選別・リサイクル
- ・リサイクル工場洗浄工程を高機能化
- ・選別工程には障がい者の参画

2012年は京都議定書で定められた
 6%削減目標の第一約束期間



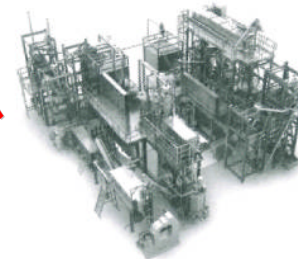
エフピコ方式「トレー to トレー」の拡大

回収容器(発泡PS容器 + 透明OPS) エコトレーに加え、
 A-PET(透明容器)でも循環型リサイクルの実現へ

- '10年3月期実績 -

7,900の回収拠点から、7,500トンの使用済容器を回収し、149億円のリサイクル容器を販売

透明容器回収は、'10年9月末現在2,113拠点から月当たり80トン超を回収



'11年3月末、障がい者雇用数は656(雇用実人数387名)に

事業提携会社49(37名)含む

戦略的 設備投資



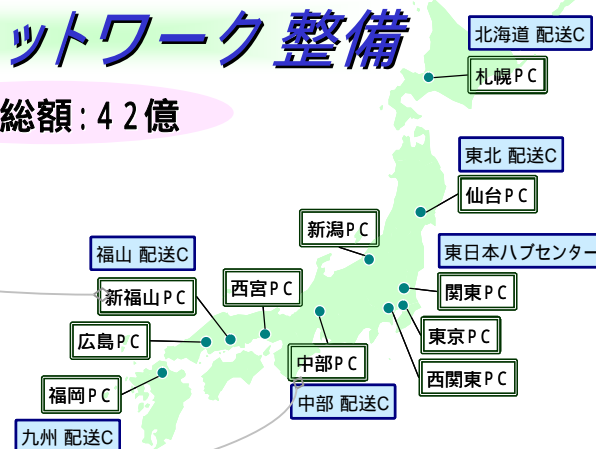
新福山ピッキングセンター ‘10年6月稼動

2層 延7,500坪 既存棟と連結し、能力が1.5倍に拡充
年間110億円規模のピッキング出荷が可能に



物流ネットワーク整備

投資総額：42億



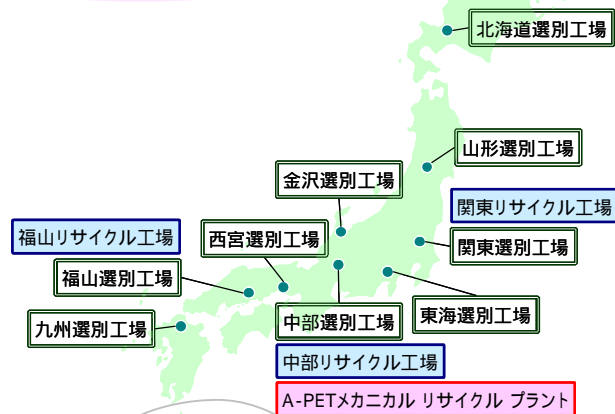
新中部ピッキングセンター ‘11年5月稼動予定

中部・東海エリアのピッキング機能を強化
ピッキングエリア：4層 延3,800坪
倉庫エリア：3層 延6,200坪



新リサイクルネットワーク構築

投資総額：60億



中部リサイクル工場 リニューアル ‘10年11月稼動

8,000坪の新しい建屋に移設しリニューアル

回収容器選別工場 全国展開 (9工場) ‘10年11月 全工場稼動

透明容器：13ライン、2,340トン/年、PSP容器26ライン、9,360トン/年

リサイクル洗淨設備を高機能ラインへ ‘10年11月稼動

水洗浄を温水+洗剤洗浄へ更新し、更なるペレット品質向上

A-PETメカニカルリサイクルプラント 導入 ‘10年11月稼動予定

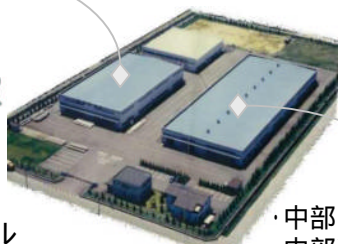
PETトレーtoトレー 実現に向け研究・開発中

関東新工場

投資総額：72億

‘11年1月着工、’12年1月竣工
3層 延14,200坪(1階:生産工場 2階:ピッキング 3階:物流倉庫)

A-PET二軸延伸製品の生産



長期目標に向けて 付加価値戦略 + 規模拡大

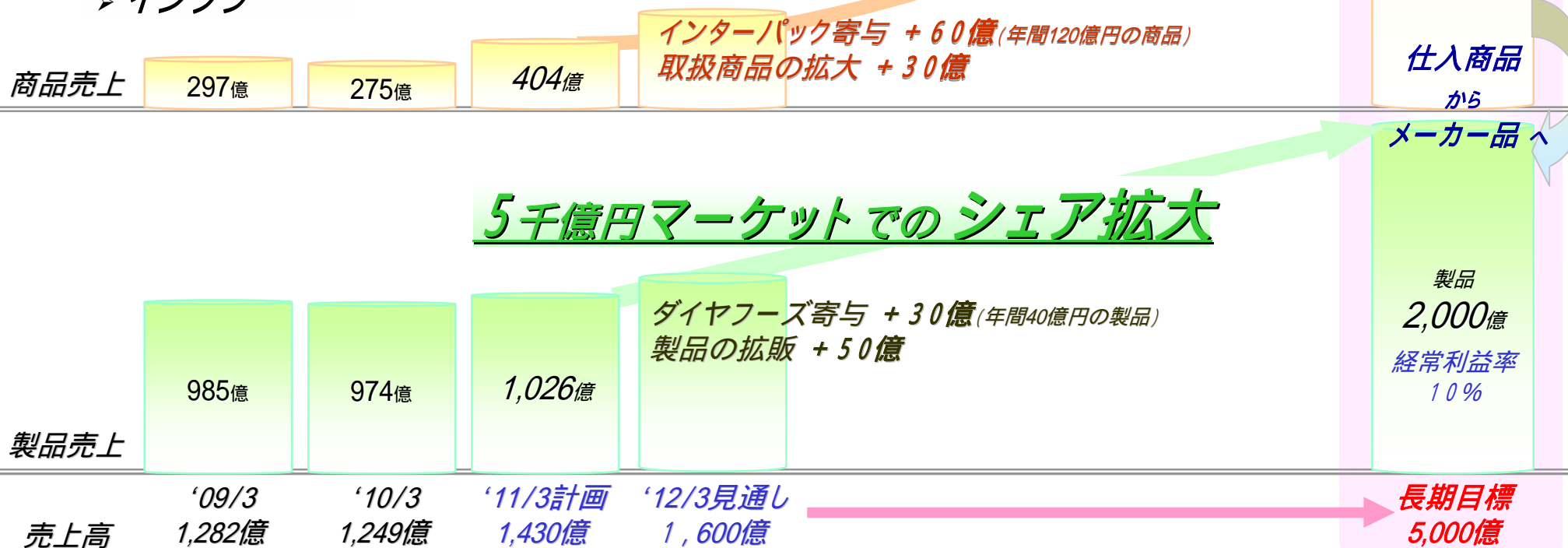


単位: 億円

- ▶ 製品/素材力
- ▶ 提案力
- ▶ 調達力
- ▶ 物流力
- ▶ 環境経営
- ▶ 社会責任
- ▶ インフラ

総合力 + M&A

2兆円マーケットへの挑戦



商品
3,000億
経常利益率
5%

仕入商品
から
メーカー品へ

製品
2,000億
経常利益率
10%

5千億円マーケットでのシェア拡大

業績状況と企業規模拡大

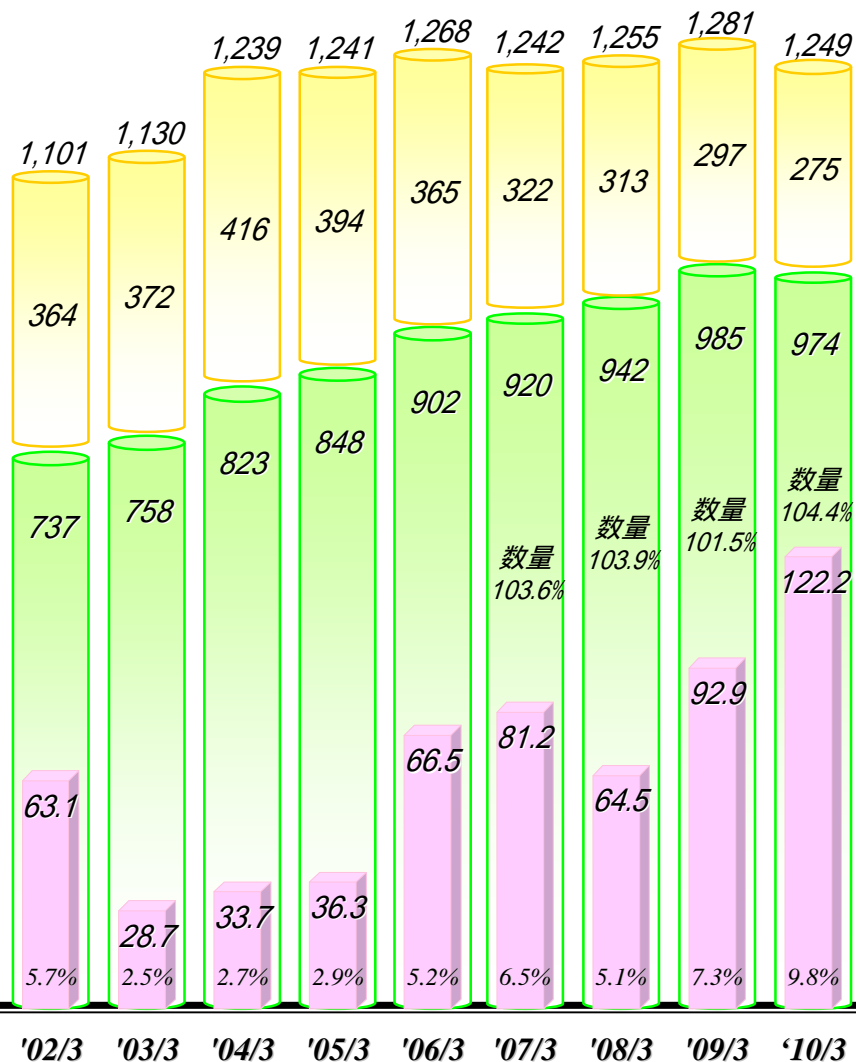
代表取締役社長
佐藤 守正

販売及び利益見通し



単位: 億円

社内改善 + 規模拡大にシフト



上期まとめ

- ✓ 原材料コスト影響は計画14億に対し11億円
原材料価格の上昇は想定より若干弱かった
- ✓ 社内改善の継続
- ✓ 製品売上数量は計画105%に対し107%と好調
- ✓ 汎用製品の拡販が進む
- ✓ 新製品の採用が順調

通期見通し

- 原材料コスト影響は計画25億に対し19億円を見込む
- 製品売上数量計画を105%から107%に修正
- 社内改善の継続
- 原材料価格影響の差額は汎用製品拡販と価格対応に
- 企業統合効果が顕在化

‘10年12月1日: ダイヤフーズ(株)をグループ化

‘10年10月1日: インターパック(株)をグループ化

‘10年6月1日: (株)アルライトをグループ化

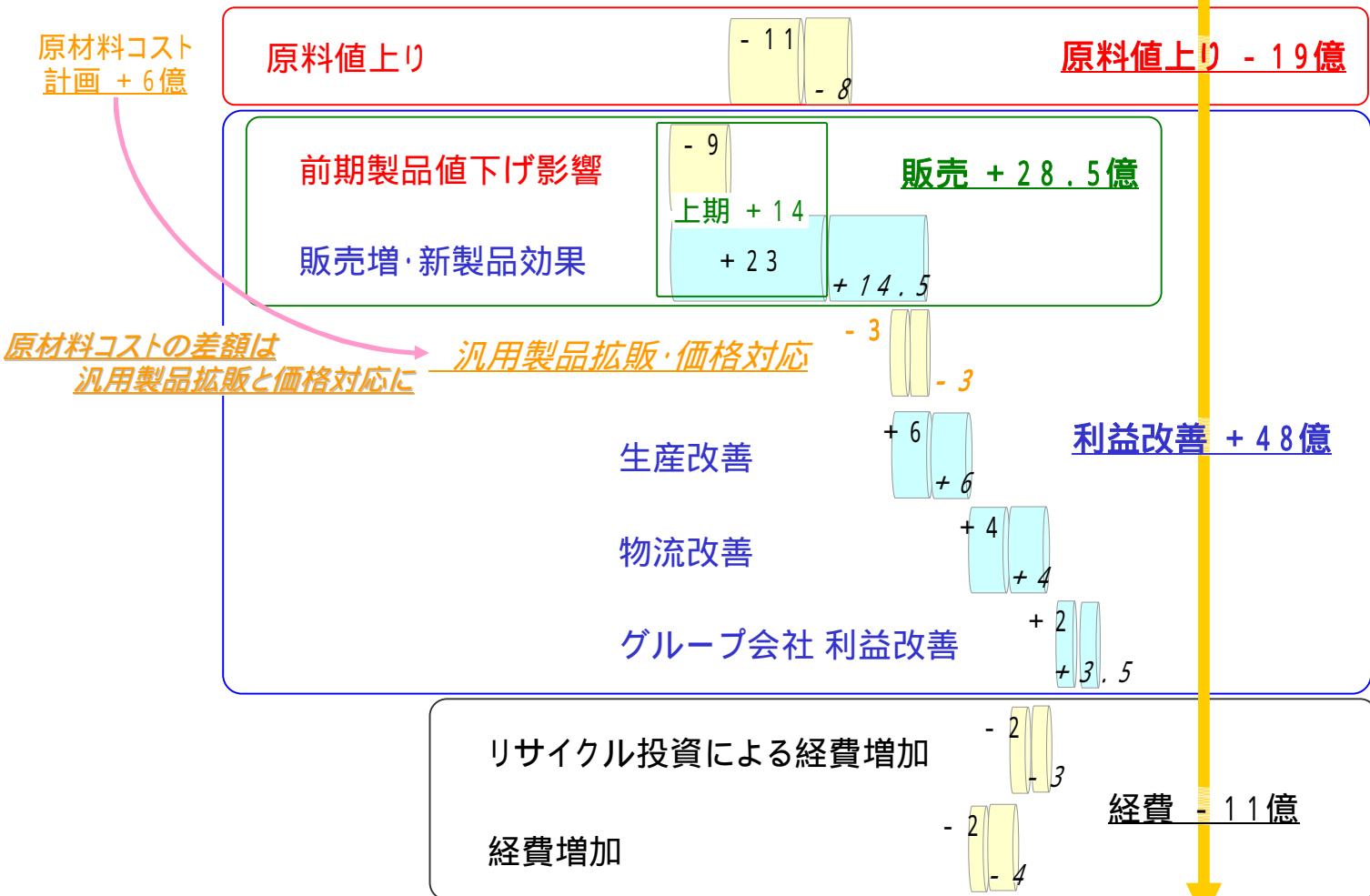
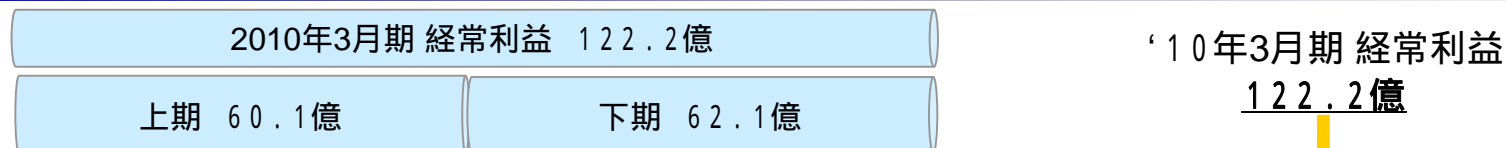
‘10年4月1日: ユカ商事(株)より購買部門を事業譲受



2011年3月期 経常利益 計画



単位: 億円



原材料
原材料価格は'09年中旬より再度値上り

販売
製品数量計画105% 107%へ
汎用製品の拡販とシェア拡大に注力
新製品の拡販

生産
製品数量増加に加え、改善施策の効果

物流
出荷数量増加に対し改善施策の効果

グループ会社
既存グループ会社の改善に加えて
・4月1日: ユカ商事(株)より購買部門を譲受
・6月1日: (株)アルライトをグループ化
・10月1日: インターパック(株)をグループ化
・12月1日: ダイヤフーズ(株)をグループ化予定

リサイクル投資
・回収容器選別工場の全国展開
・リサイクル洗浄ライン更新
・関東・中部リサイクル工場 リニューアル
・APETメカニカルリサイクルプラント稼動 '10/11

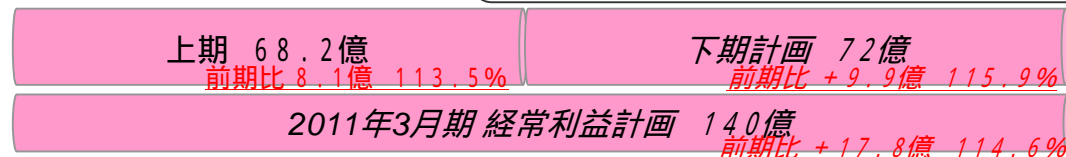
‘11年3月期 販売計画 **1,430億** 116.9%

製品売上高: 前期比: **105.3%** +52億

製品売上数量: 前期比: **107%**

商品売上高: 前期比: **147.1%** +129億

製品売上数量計画を105%から107%に修正



‘11年3月期 経常利益
140億
前期比 +17.8億 (114.6%)

メーカーとして基本3本柱を徹底的に追求



もっとも高品質な製品を

どこよりも競争力のある価格で

高品質

価格競争力

精度向上と情報共有

物流力

必要な時に確実にお届けする

企業基盤をより強固に

企業価値と競争力を高める

技術 + 素材 生産性アップと品質向上



価格 + 品質 + 機能、トータルで競争力のある製品作り

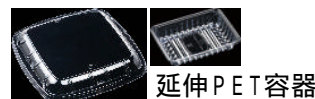
素材 + シート + フィルム + 金型 + 成型、総合技術で、更なるコスト削減
 // 更なる機能アップ

新素材

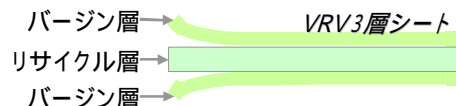
PS ・マルチFP(MFP)耐熱耐寒発泡: -40 ~ +110



PET ・一軸延伸: 耐熱+70 + 軽量化
 ・二軸延伸: 耐熱+80 + 軽量化 '12年春上市予定
 ・VRV3層構造の押出シートダイヤフーズより上市済



PP ・耐熱透明: 耐熱+110
 ・新発泡: 耐熱+110 + 軽量化 近日上市



バイオマスプラスチック

・ポリ乳酸(PLA): 生物由来ダイヤフーズより上市済



新機能

漏れにくい

- ・PP惣菜容器
- ・APETデリカ容器



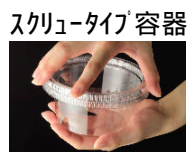
ズレにくい

- ・PSPデザイン容器

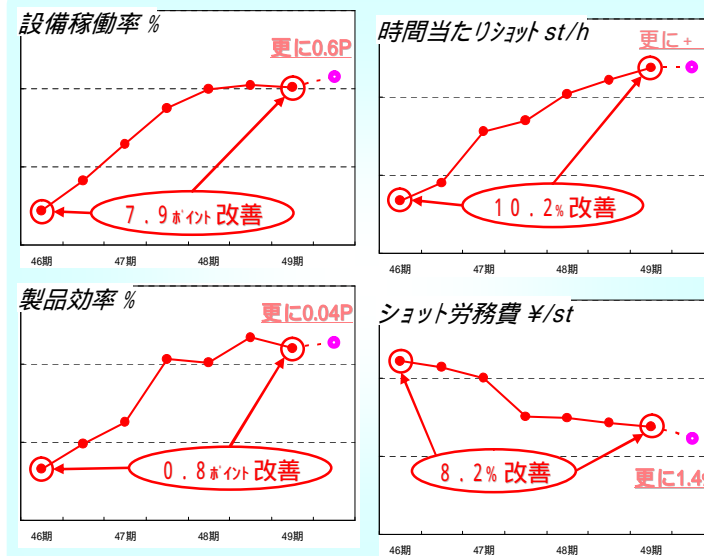


繰り返し使える

- ・スクリュウタイプ容器



あらゆる指標で改善効果



技能塾

モノづくり革新PJ

モノづくり、人づくり

革新セミナー — 基礎技術研究

PS: ポリスチレン
 PSP: 発泡ポリスチレン
 OPS: 透明ポリスチレン
 APET: 非結晶ポリエチレンテレフタレート
 PP: ポリプロピレン

汎用製品の更なる競争力アップ

環境経営と社会責任 新リサイクルネットワークの構築



回収 リサイクル工場(6工場)

回収 選別工場(9工場) リサイクル工場(3工場)

選別工場の全国展開

- ・発泡トレイ容器 + 透明容器の回収・選別・減容
 - > 発泡トレイ容器を色選別
 - > 透明容器を素材選別
- ・選別後には減容
- ・選別工程には障がい者の参画



'11年3月末
障がい者雇用数は656に
(雇用実人数387名)

福山リサイクル工場

福山選別工場

九州選別工場

西宮選別工場

金沢選別工場

中部選別工場

中部リサイクル工場

東海選別工場

関東リサイクル工場

関東選別工場

山形選別工場

北海道選別工場

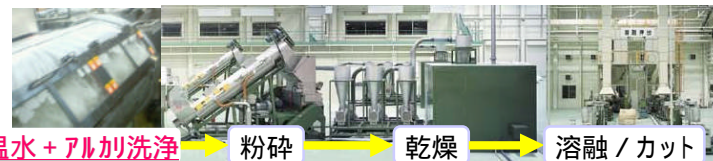
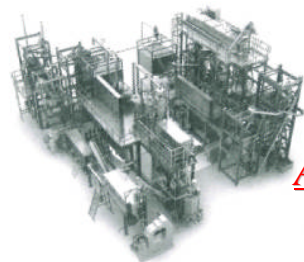
A-PETメカニカルリサイクルプラント

A-PET(透明容器)循環型リサイクルの実現へ

- ・ヨーロッパでボトルtoボトルを実現しているプラント
- ・FDA認可を取得予定
- ・VRV3層押出シートの拡大

リサイクル工場の統廃合とリニューアル

- ・洗浄 粉碎 乾燥 ペレット化
- ・洗浄工程を温水+アルカリ洗浄へ高機能化
- ・6工場から3工場へ統廃合



環境と障がい者雇用が一体化した事業

全国を網羅する物流ネットワーク



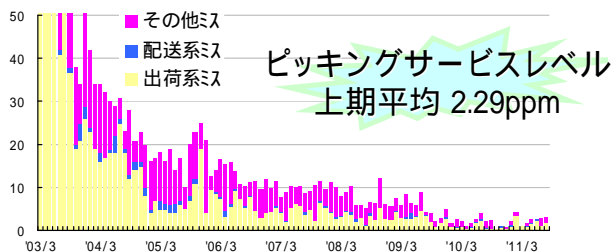
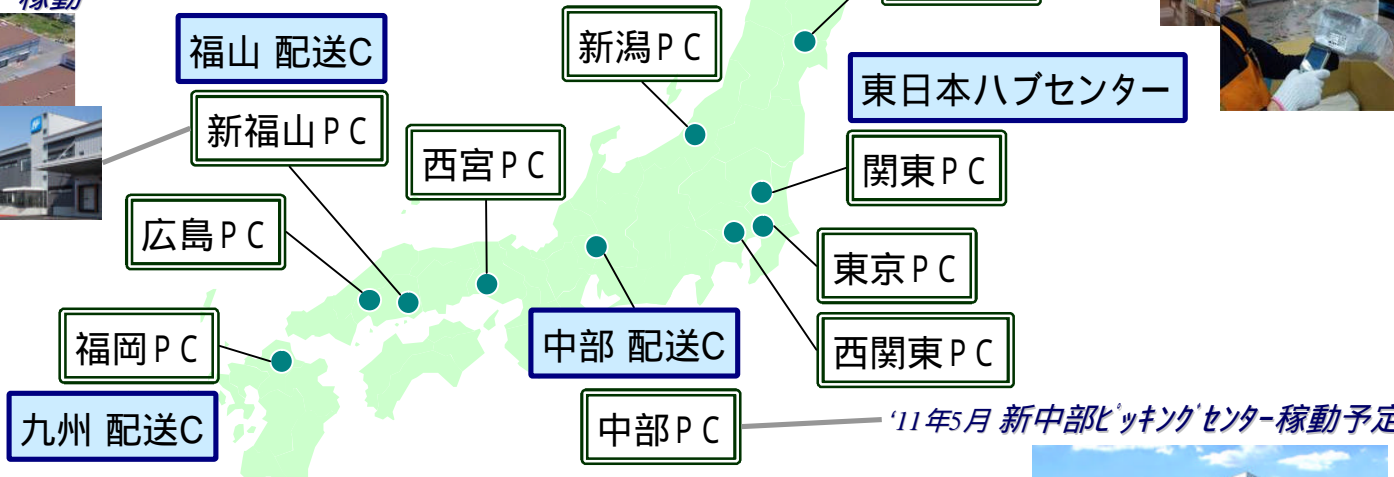
新中部ピッキング、関東新工場 稼働時

全国 6 拠点 (10万75百坪) の 配送センター と

全国 11 拠点 (3万15百坪) の ピッキングセンター から

高品質で効率的な物流サービスを提供

'10年6月新福山ピッキングセンター稼働



九州 配送C

配送センター (配送C)

- ・エフピコ製品の取扱
- ・ケース単位での在庫管理
- ・配送C間での在庫調整 (横持ち)
- ・ディーラー/食品工場等 向けにケース出荷

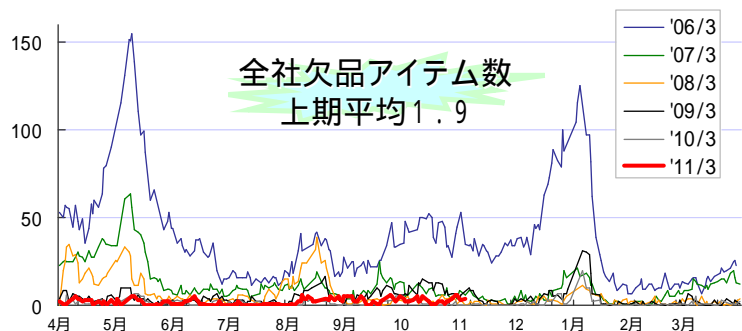


ピッキングセンター (PC)

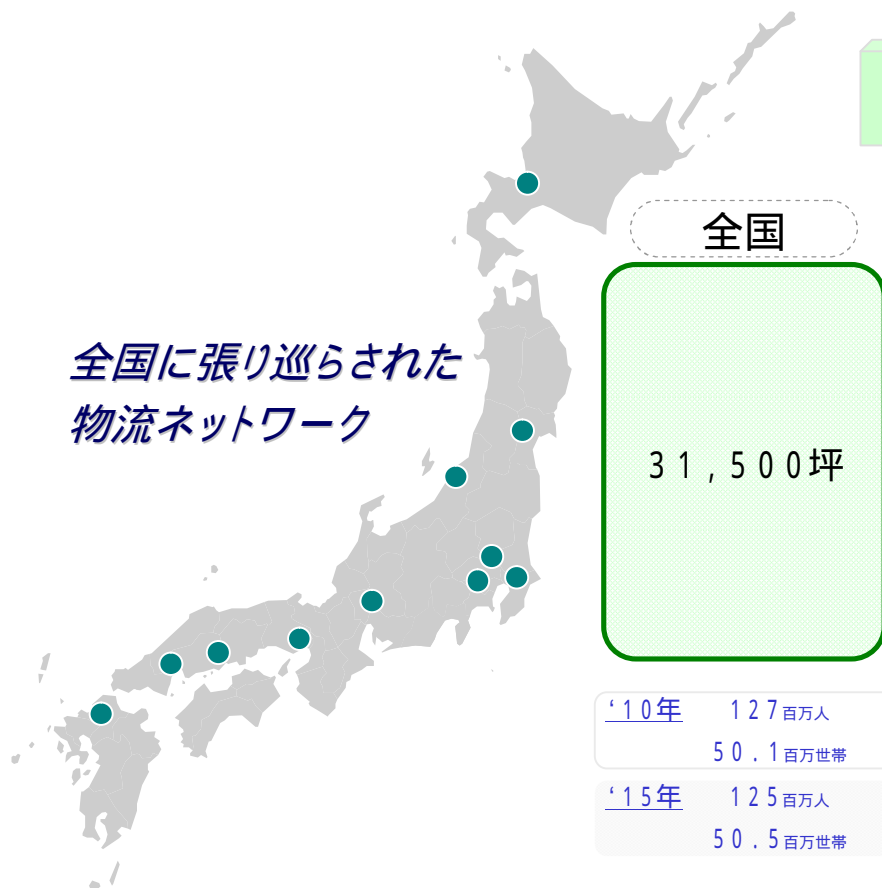
- ・エフピコ製品及び仕入商品の取扱
- ・バラ/袋 単位での在庫管理
- ・ユーザー向けにピッキングし詰合せ出荷

ピッキング事業 取扱状況

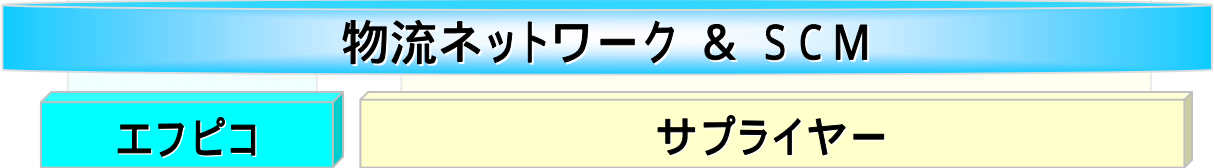
- ・取扱アイテム: 3万アイテム
- ・出荷数量: 580万本/月
- ・出荷先数: 260社、7,400ヶ所



小分けピッキング拡大に向けネットワーク整備



包装資材・消耗品 マーケット						
全国	北海道	東北	関東	中部	関西・中四国	九州
31,500坪	700坪	700坪	14,200坪 関東新工場2F計画	3,500坪 建設中	10,400坪	2,000坪
	札幌PC	東北PC	関東PC 新潟PC 西関東PC 東京PC	中部PC	関西PC 福山PC 広島PC	九州PC
'10年 127百万人 50.1百万世帯	5.5百万人 2.4百万世帯	9.3百万人 3.4百万世帯	45.2百万人 18.4百万世帯	20.3百万人 7.4百万世帯	32.2百万人 12.8百万世帯	14.5百万人 5.8百万世帯
'15年 125百万人 50.5百万世帯	5.4百万人 2.3百万世帯	9.1百万人 3.4百万世帯	45.2百万人 18.7百万世帯	20.0百万人 7.5百万世帯	31.6百万人 12.8百万世帯	14.3百万人 5.8百万世帯



企業規模 拡大へ



市場規模: 2兆円超

包装資材・消耗品 マーケット

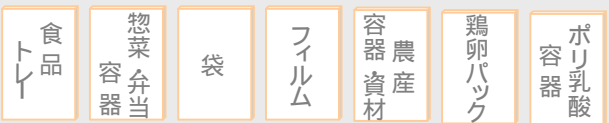
市場規模: 5,000億

簡易包装容器

インスタ

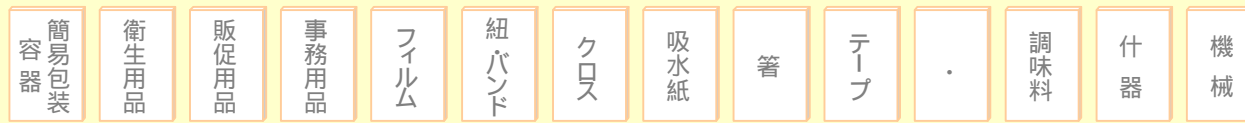


アウトバック



消耗品・包装資材 / 機器

小売・中食・外食 全般



得意分野で
優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

業務提携・M&A

世界初の
素材・機能

‘10年12月1日
ダイヤフーズ(株)をグループ化 予定

‘09年10月1日
日本パール容器(株)を事業譲受

‘09年6月1日
太洋興業(株)より包材部門を事業譲受

‘10年10月1日
インターパック(株)をグループ化

ピッキング整備

新福山ピッキングセンター ‘10年6月稼動
新中部ピッキングセンター ‘11年5月予定

物流ネットワーク & SCM

製品/素材 開発力

提案力

リサイクル

物流力

インフラ

調達力

‘10年6月1日
(株)アルライトをグループ化

‘10年4月1日
ユカ商事(株)より商品購買部門を事業譲受

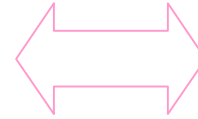
サプライヤー

グループ拡大

消耗品・包装資材

‘10年4月1日: **ユカ商事(株)**より **購買部門**を **事業譲受**

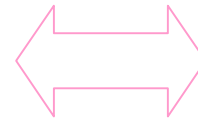
- ・包装品・消耗品の調達に強み
- ・年間60億円規模の商品取扱高



・商品調達力 強化

‘10年10月1日: **インターパック(株)**を **グループ**に

- ・関東圏を中心とした大手包装資材問屋
- ・年間売上190億円規模 製品70億、商品120億

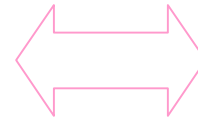


- ・物流 効率化
- ・営業力 強化
- ・販売チャンネル 拡大
- ・商品取扱 拡大

メーカーとして

‘10年6月1日: **(株)アルライト**を **グループ**に

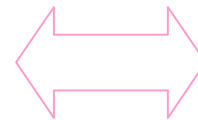
- ・ポリスチレンフィルムのトップメーカー
- ・ダンボール製造販売



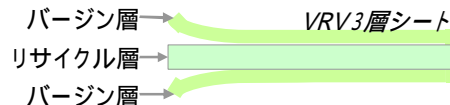
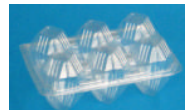
- ・ラミネートフィルム技術 向上
- ・副資材調達 合理化

‘10年12月1日: **ダイヤフーズ(株)**を **グループ**に (予定)

- ・鶏卵パックでは業界2位
- ・多層A - PETシート(VRV)による容器生産
- ・ポリ乳酸容器の生産
- ・養鶏、農産といった生産者に近い販売チャンネル



- ・販売チャンネル 拡大
- ・製品バリエーション 拡大
- ・生産技術 共有
- ・リサイクル 拡大
- ・物流 効率化



今後の大型設備投資



新中部ピッキングセンター '11年5月稼働予定

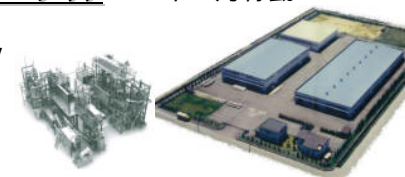
- 中部・東海エリアのピッキング機能を強化
- ピッキングエリア: 4層 延3,800坪
- 倉庫エリア: 3層 延6,200坪

投資総額: 2.4億



中部リサイクル工場リニューアル '10年11月稼働

中部選別工場 '10年11月稼働



APETメカニカルリサイクルプラント '10年11月稼働予定

中部地区に、生産～物流～リサイクルの一大拠点を

関東新工場

投資総額: 7.2億

- '11年1月着工、'12年1月竣工
- 3層 延14,200坪
- 環境・省エネ・衛生に配慮した最新鋭の施設
(屋上緑化、太陽光発電、陽圧化、等)

1階: 生産施設 5,000坪

A - PET二軸押出延伸設備

A - PET熱板成型設備

PSP真空成型設備 関東第1工場より移設

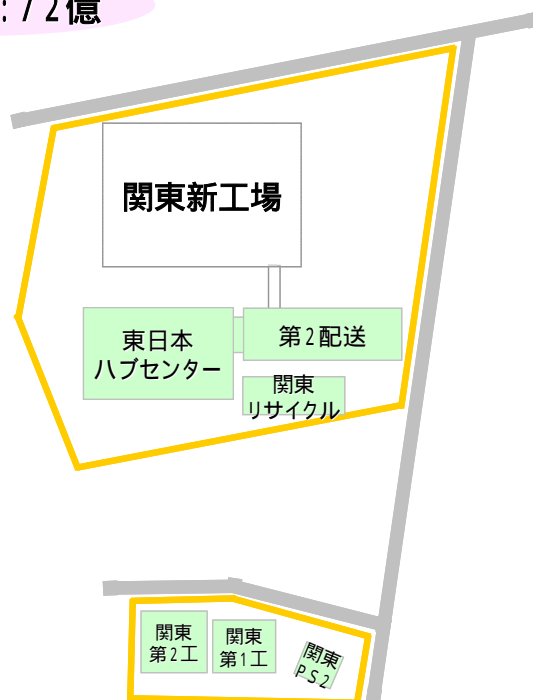
2階: ピッキング 3,500坪

3階: 倉庫施設 4,500坪

外部借庫コストの圧縮

拠点内物流効率の改善

- 関東第1工場は最新鋭工場へ改修



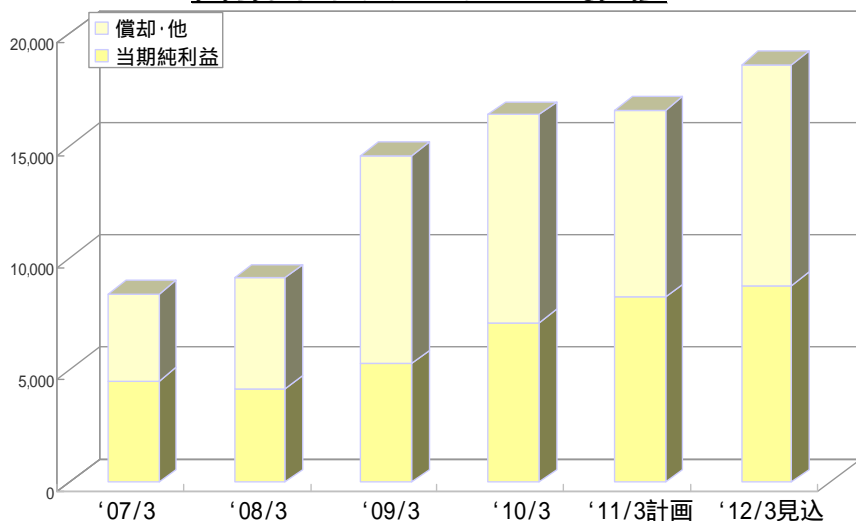
A - PET二軸延伸製品の特徴

- ! OPS製品と同等の耐熱性・強度
- ! 優れた素材特性(耐油、耐酸、対可塑性、等)
- ! シート押出から成型までの一貫生産
- ! OPSと同等のコスト

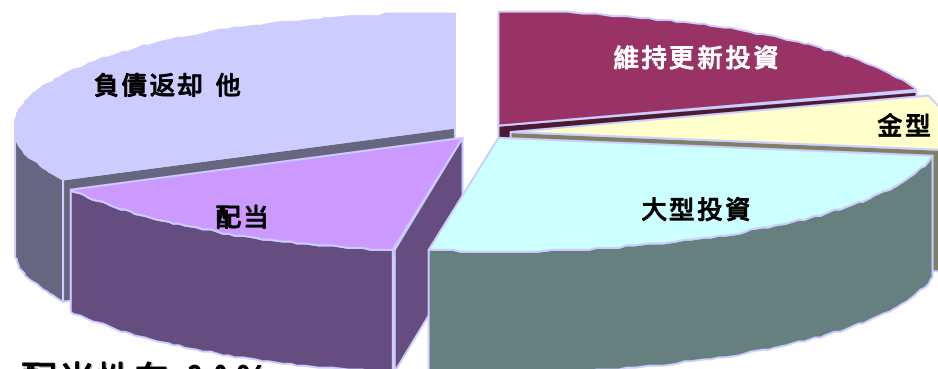


健全な財務体質へ

営業キャッシュフロー 推移

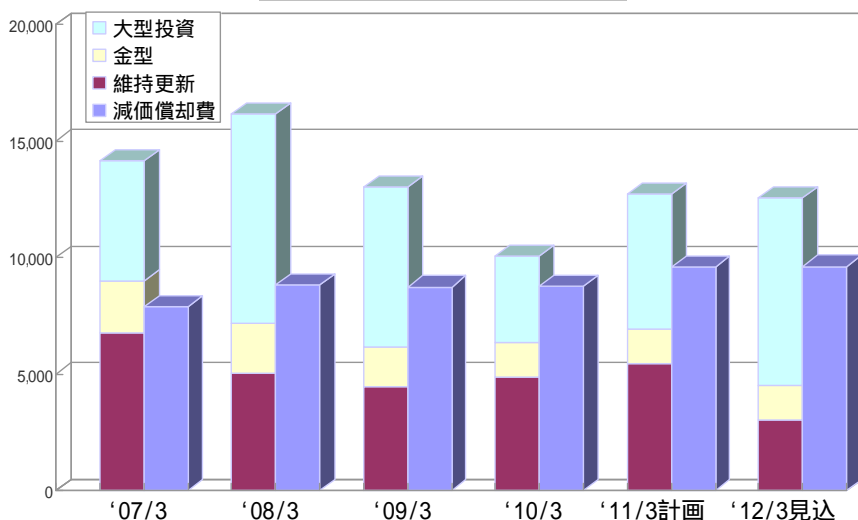


営業キャッシュの使途イメージ



設備投資イメージ		償却イメージ	
維持・更新	40億	生産	40億
金型	20億	金型	20億
大型投資	40億	物流	10億
		環境	10億
		他	10億

設備投資 償却 推移



戦略的な設備投資と
 戦略的な企業統合により
 企業規模と価値の拡大
 投資と有利子負債圧縮の
 バランスに配慮し、
 より健全な財務体質へ

業界内での更なる優位性

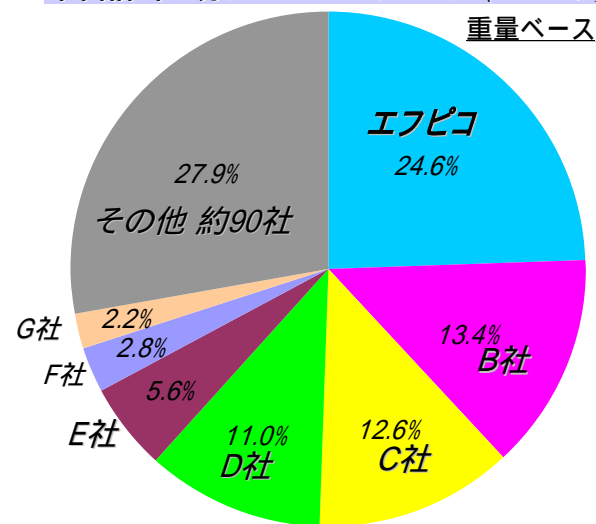


- 製品/素材力
- 提案力
- 調達力
- 物流力
- 環境経営
- 社会責任
- インフラ

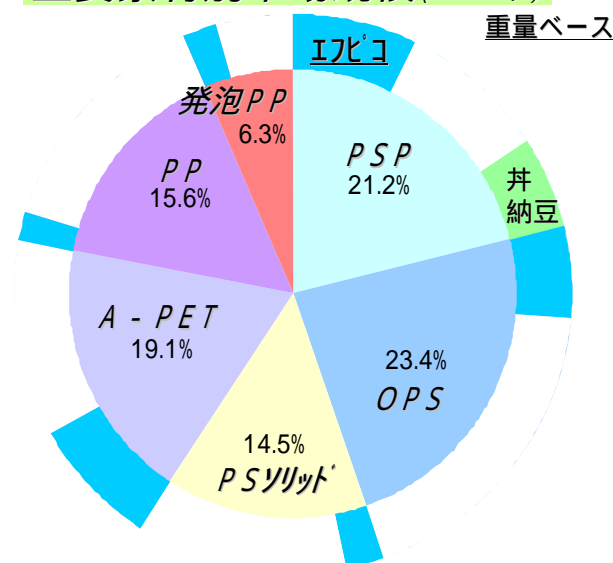
総合力
+
企業統合

あらゆる分野で優位性を更に高め
グループ総合力で業界を牽引
立ち止まることのない成長と創造

容器市場メーカーシェア(2009年)



主要素材別市場規模(2009年)



上記の図表はエフピコ独自調査による

添付資料 1

2011年3月期 見通し

販売計画 (2011年3月期)



単位:百万円	実績		見通し		増減	前年比
	10/3月期	構成比	11/3月期	構成比		
ト レ - 容 器	26,967	21.6	27,100	19.0	+ 132	100.5%
弁 当 容 器	68,714	55.0	72,400	50.6	+ 3,685	105.4%
そ の 他 製 品	1,737	1.4	3,100	2.2	+ 1,362	178.4%
[製 品]	97,419	78.0	102,600	71.7	+ 5,180	105.3%
包 装 資 材	16,961	13.6	30,300	21.2	+ 13,338	178.6%
そ の 他 商 品	10,537	8.4	10,100	7.1	437	95.8%
[商 品]	27,499	22.0	40,400	28.3	+ 12,900	146.9%
[売 上 高]	124,918	100.0	143,000	100.0	+ 18,081	114.5%

製品

- ・出荷枚数 前年比107%伸長
- ・軽量化、素材切替、新素材開発、機能開発などにより、既存マーケットでのシェア拡大
- ・用途開発によるマーケット拡大

商品

- ・グループの物流ネットワークを最大限に生かし、取扱量の増加

決算計画概要 (2011年3月期)



単位:百万円	実績		見通し		増減	前年比
	10/3月期	構成比	11/3月期	構成比		
【純売上高】	124,918	100.0	143,000	100.0	+ 18,081	114.5%
製品売上高	97,419	78.0	102,600	71.7	+ 5,180	105.3%
商品売上高	27,499	22.0	40,400	28.3	+ 12,900	146.9%
【営業利益】	11,892	9.5	13,700	9.6	+ 1,807	115.2%
【経常利益】	12,220	9.8	14,000	9.8	+ 1,779	114.6%
【税引前利益】	11,953	9.6	0	0.0	11,953	0.0%
【当期利益】	7,114	5.7	8,240	5.8	+ 1,125	115.8%

M&A : '10年10月関東を中心に事業展開する包装資材問屋インターパック(株)

'10年12月鶏卵パックをはじめとした農産品向け容器の製造販売するダイヤフーズ(株)

販売面 : 既存マーケットでのシェア拡大と、用途開発による新規マーケットへの進出を図る

当社グループの物流ネットワークを最大限に生かし、商品取扱量の増加を図る

技術面 : 最新鋭の設備導入と更新を行い、製品の軽量化、素材切替、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進める

生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化

物流面 : 6月 新福山ピッキングセンター稼働、来春 新中部ピッキングセンター稼働予定

物流ネットワークの更なる整備により、流通全体でのトータルコスト削減と品質向上を図り、ピッキング需要の拡大に備える

環境面 : 発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、

さらなる循環型社会の形成に努める

設備投資・研究開発費計画 (2011年3月期)



単位:百万円		実績 10/3月期	見通し 11/3月期	増減	前年比	当初計画 11/3月期	前年比
設		9,090	12,750	+ 3,659	140.3%	12,550	
備	有形固定資産	8,827	12,330	+ 3,502	139.7%	12,130	
投	内、土地	1,230	390	840		210	
資	無形固定資産	263	420	+ 156	159.5%	420	
減	償却費	8,461	9,170	+ 708	108.4%	9,140	
研	究 開 発 費	1,035	1,060	+ 24	102.3%	950	

設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

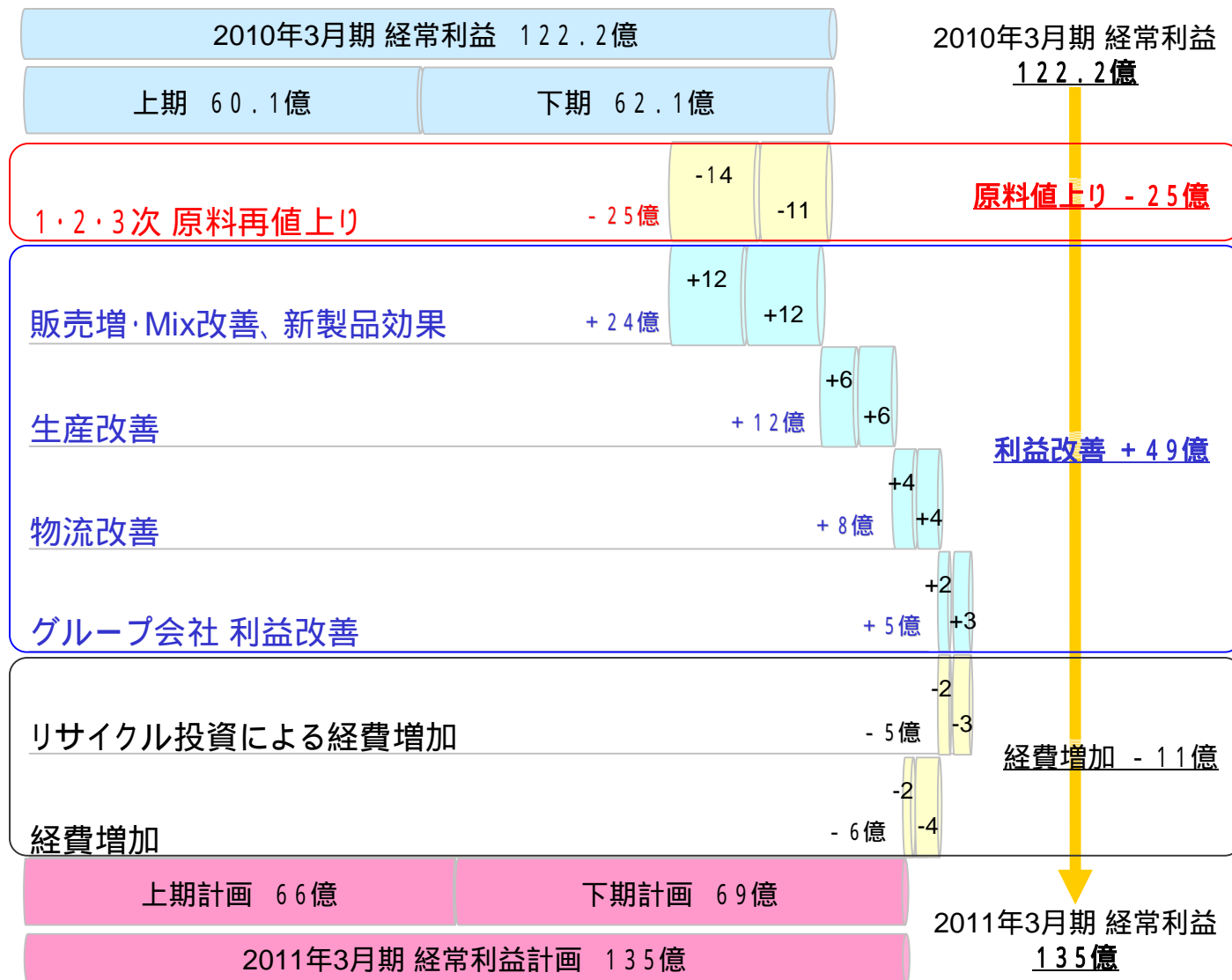
		百万円	
リサイクル	透明容器設備強化(一軸延伸PET)	404	
	関東リサイクル工場リニューアル	453	
	中部リサイクル工場リニューアル	885	
	回収容器選別工場	1,240	
	PETメカニカルリサイクルプラント	1,027	(投資総額 1,320百万円) '10/11稼動予定
ピッキングセンター	新福山	965	(投資総額 1,887百万円) '10/6稼動
	新中部	1,020	(投資総額 2,350百万円) '11/5稼動予定
関東新工場		500	(投資総額 7,200百万円) '12/2稼動予定
金型		1,450	
IT投資		560	

添付資料 2

2011年3月期 経常利益計画

単位: 億円

平成22年5月10日 発表



原材料動向
大きく値上りした原材料価格は、'09年3月期 第4四半期から値下り、しかしながら、'10年3月期 第2四半期より、値上りに転じる。

製品販売数量: 前期比 105% 計画
素材切替・軽量化
・あらゆる製品、素材で軽量化
・PSからAPET・PPへの切替

新製品
・新耐寒耐熱容器
・漏れにくい容器、内容物がズレにくい容器
・新デザイン容器

生産改善
・改善施策の進捗に加え数量増効果

物流改善
・改善施策の推進

リサイクル投資
・回収容器選別工場の全国展開
・リサイクル洗浄ライン更新
・APETメカニカルリサイクルプラント稼働 '10/11

・リサイクルペレットの品質向上
・APET容器の循環型リサイクルの実現

'11年3月期 販売計画 **1,370億**
109.7%

< 製品 >
売上高: 前期比: **105.3%** +52億
数量: 前期比: **105%**

< 商品 >
売上高: 前期比: **125.1%** +69億

上期 前期比 +6億 110%

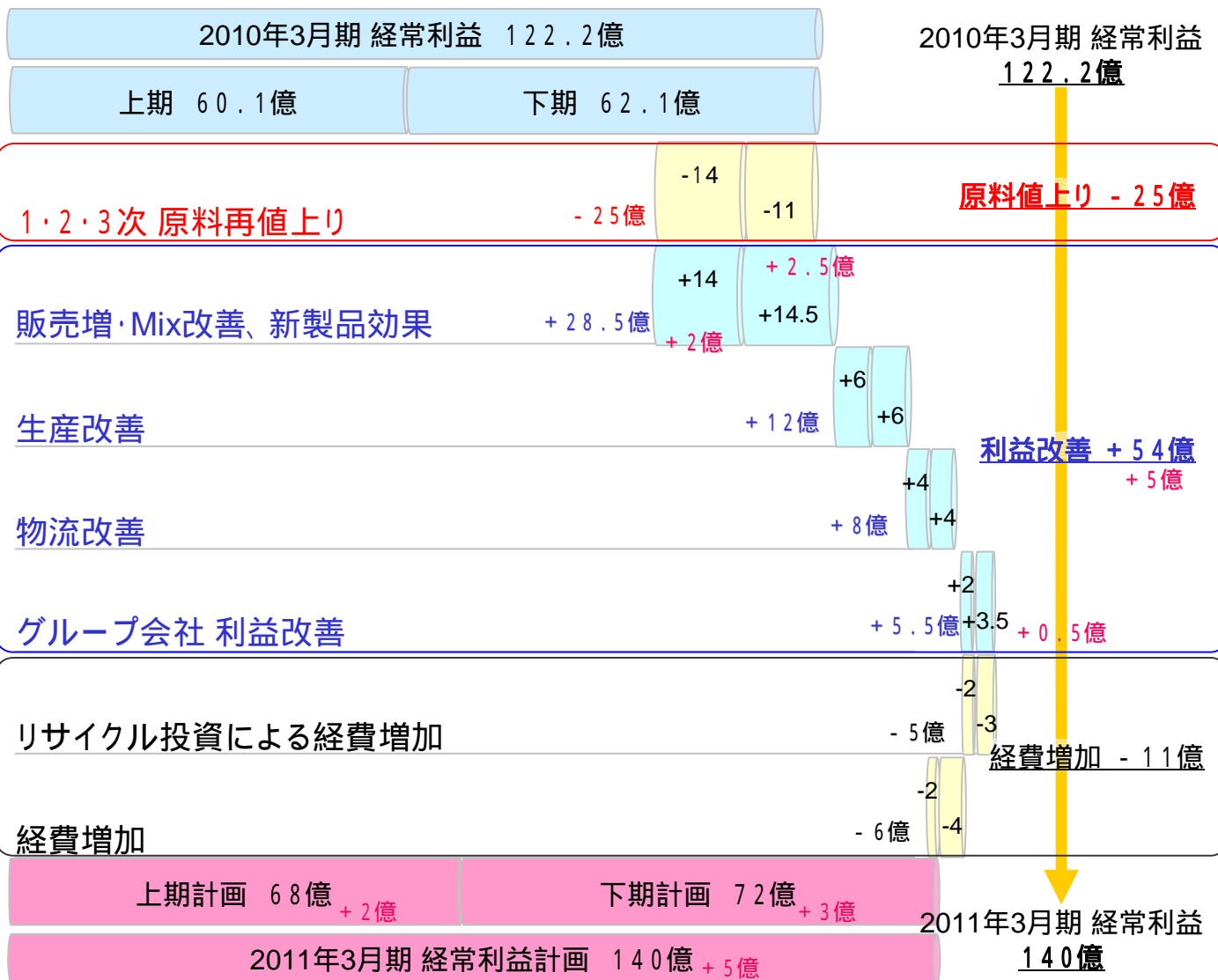
下期 前期比 +7億 111%

前期比 +13億 110.5%

2011年3月期 経常利益計画

平成22年8月9日 修正発表

単位: 億円



原材料動向
大きく値上りした原材料価格は、'09年3月期 第4四半期から値下り、しかしながら、'10年3月期 第2四半期より、値上りに転じる。

製品販売数量: 前期比 105% 計画
素材切替・軽量化
・あらゆる製品、素材で軽量化
・PSからAPET・PPへの切替

新製品
・新耐寒耐熱容器
・漏れにくい容器、内容物がズレにくい容器
・新デザイン容器

生産改善
・改善施策の進捗に加え数量増効果

物流改善
・改善施策の推進

リサイクル投資
・回収容器選別工場の全国展開
・リサイクル洗浄ライン更新
・APETメカニカルリサイクルプラント稼動 '10/11

・リサイクルペレットの品質向上
・APET容器の循環型リサイクルの実現

商品売上 + 60億
'11年3月期 販売計画 **1,430億**
116.9%

< 製品 >
売上高: 前期比: **105.3%** +52億
数量: 前期比: **105%**

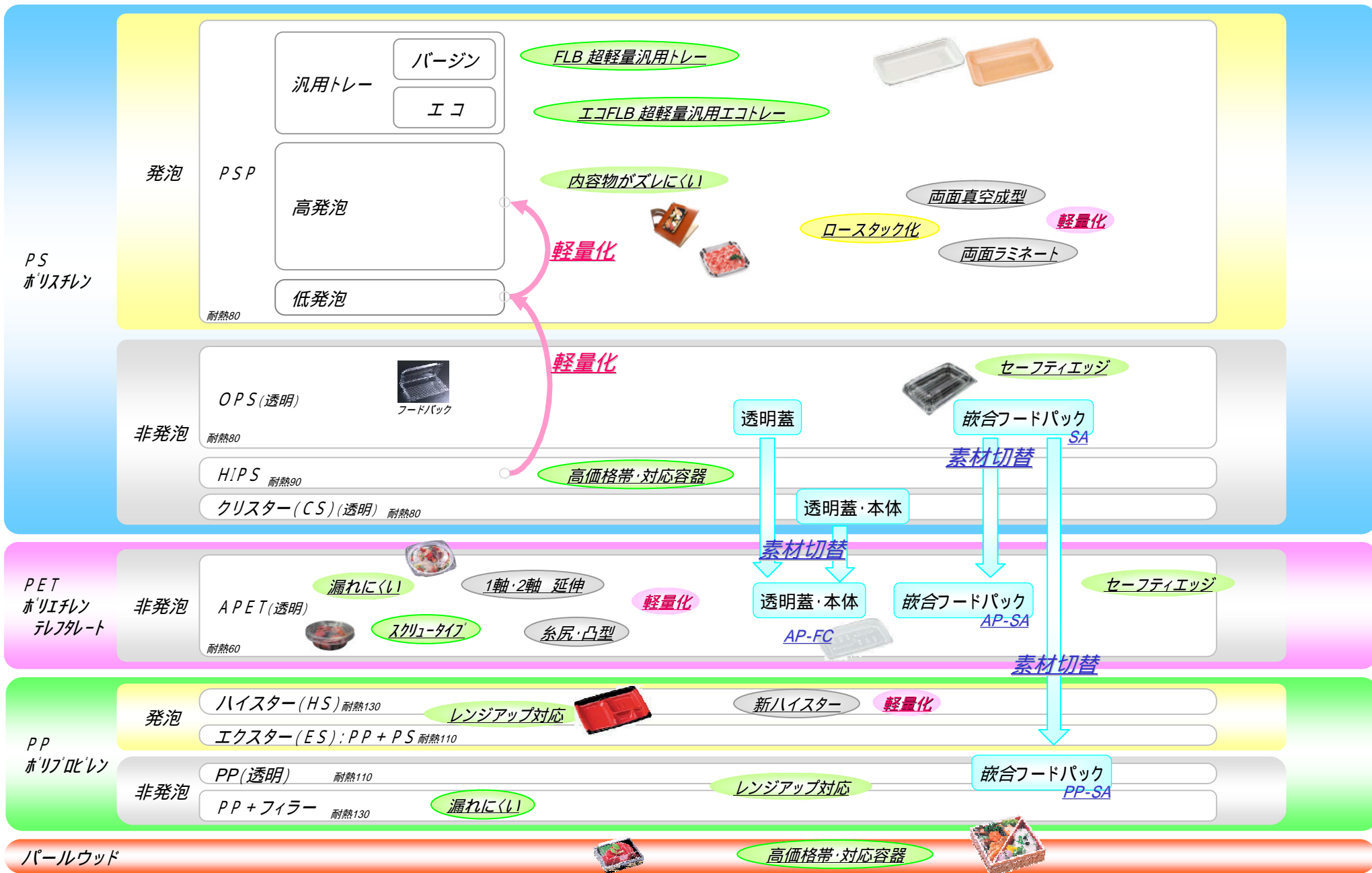
< 商品 >
売上高: 前期比: **147.1%** +129億

上期 前期比 +7.9億 113%

下期 前期比 +9.9億 115.9%

前期比 +17.8億 114.6%
+5億

素材別 製品構成



原材料価格変動の影響



単位: 億円

'03年3月期以降の原材料価格の上昇は

'08年3月期 累計 **118.8億円**

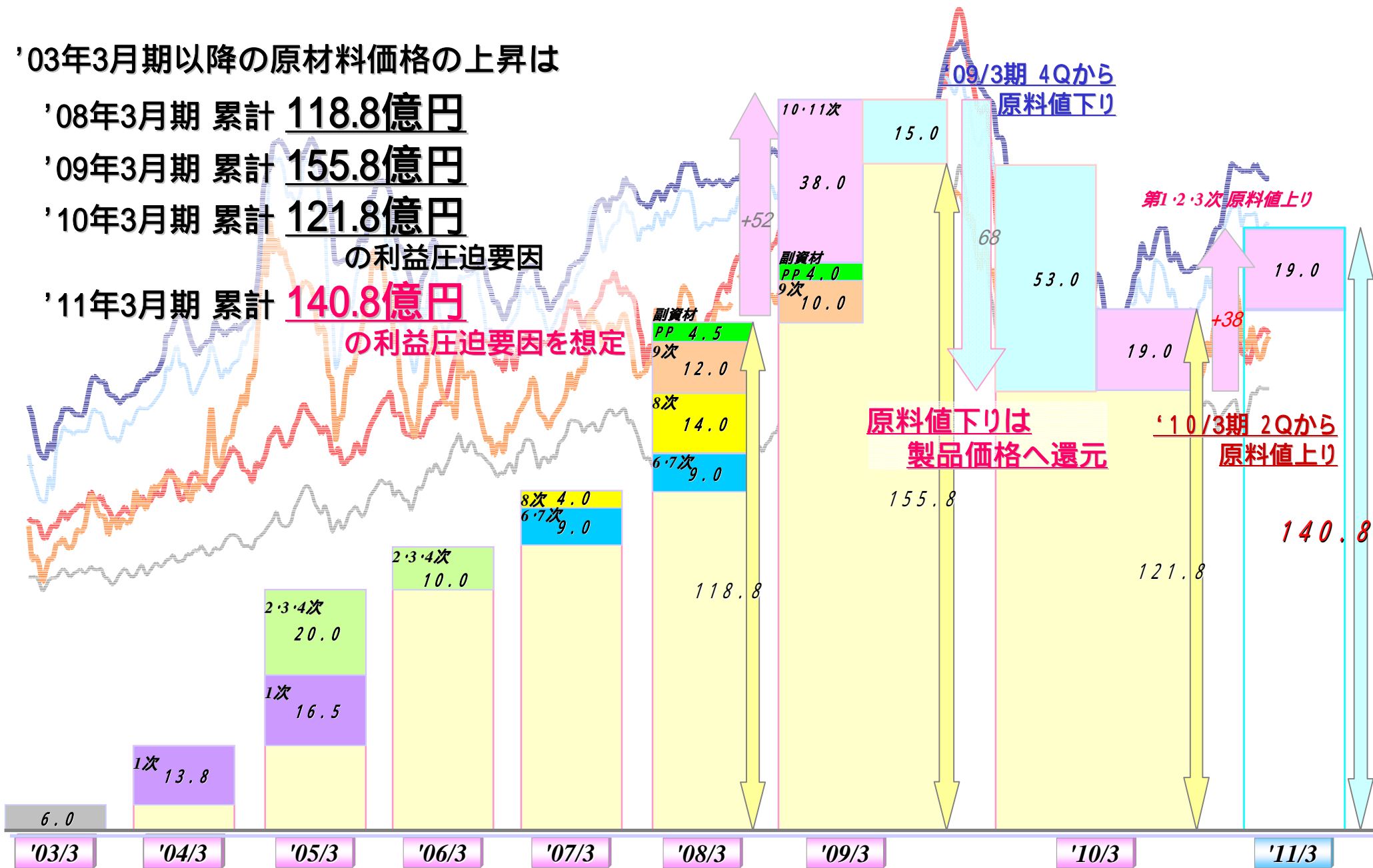
'09年3月期 累計 **155.8億円**

'10年3月期 累計 **121.8億円**

'11年3月期 累計 **140.8億円**

の利益圧迫要因

の利益圧迫要因を想定



社内改善施策



単位: 億円

薄肉・軽量化、素材切替

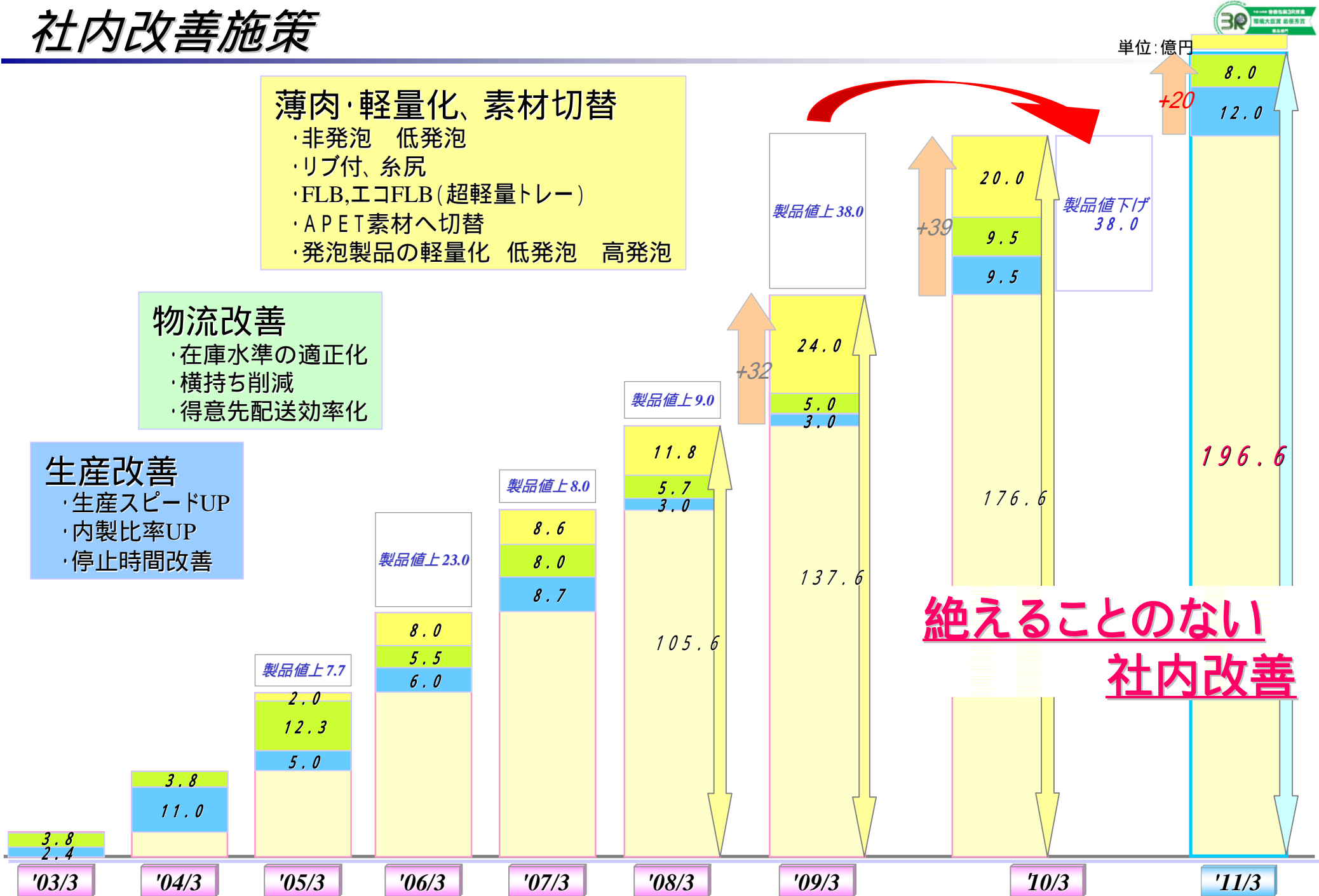
- ・非発泡 低発泡
- ・リップ付、糸尻
- ・FLB, エコFLB (超軽量トレー)
- ・APET素材へ切替
- ・発泡製品の軽量化 低発泡 高発泡

物流改善

- ・在庫水準の適正化
- ・横持ち削減
- ・得意先配送効率化

生産改善

- ・生産スピードUP
- ・内製比率UP
- ・停止時間改善



**絶えることのない
社内改善**

設備投資・研究開発費 推移



生産		山形工場				下館第二工場			太洋興業	日本ハル容器	タイヤース
						中部第二工場	九州第二工場		ウツ工場	フードパック設備	アルライト
										北海道工場増設	関東新工場
										PPF	
										透明容器設備の強化	
物流		東日本ハブセンター				関東八千代C	新北海道HC				
		九州HC	北海道HC							新福山PC	
		関西PC					日立化成 土地・建物				新中部PC
リサイクル						中部・東北・九州				透明容器回収・容器選別工場	
										洗浄ライン刷新	
										中部リサイクル工場	
										中部 PETメカニカルリサイクル	
その他						東海HC	福山本社事務所	福山地区 土地・建物	中部地区 土地・建物	エカ商事	インターパック
	設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,750	
	有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,330	
	無形	958	789	120	238	362	254	841	263	420	
	内 金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,450	
	リース調達 金型	937	800	983	1,440	1,533	1,581	(1,274)	(82)	(0)	
	減価償却	3,339	4,201	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,170	
						旧基準減価償却		4,785	5,091	6,130	
	研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,060	

単位:百万円

‘03年3月期 ‘04年3月期 ‘05年3月期 ‘06年3月期 ‘07年3月期 ‘08年3月期 ‘09年3月期 ‘10年3月期 ‘11年3月期 計画

>>’09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

經常利益 增減要因 推移



単位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期 '07/3			46期 '08/3			47期 '09/3			48期 '10/3			49期計画 '11/3			
					上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	32.2	34.3	66.5	43.4	37.8	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-1.0	-12.0	-13.0	-19.0	-20.5	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0	-	-25.0	-	-	-	
											原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0	-	-	-	
製品値上げ 影響	-25.0	+7.7	+29.2		-	+4.0	+4.0	-	+9.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0	-	+25.0	-	-	-	
											第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0	-	-	-	
											第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0	-	-	-	
											原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-8.0	-19.0	
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+2.4	+3.4	+5.8	+2.0	+1.0	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+11.5	+22.5	
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+5.2	+3.4	+8.6	+3.0	+8.8	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0				
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+4.9	+3.8	+8.7	+2.0	+1.0	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+4.5	+3.5	+8.0	+2.5	+3.2	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	
グループ会社利益改善														+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	
美術品売却益			+1.0	-1.0							+4.0		+4.0	-4.0	-	-4.0	-	-	-	
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-4.8	-2.6	-7.4	-1.9	-7.8	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.0	-11.0	
經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	43.4	37.8	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68	72	140	
																	期初計画	66	69	135